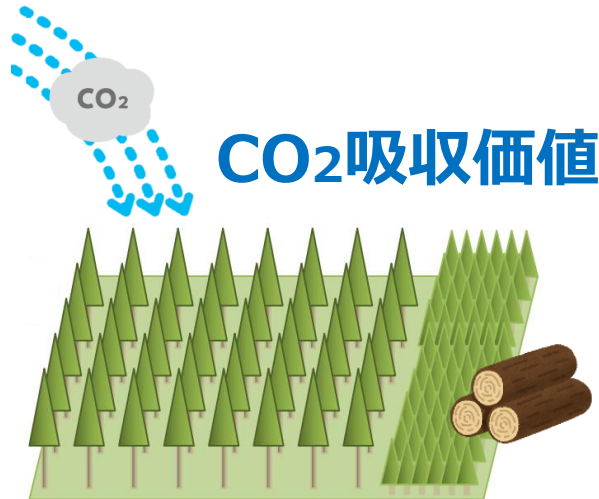


- ✓ CO<sub>2</sub>吸収による環境価値（CO<sub>2</sub>クレジット）創出等の知見を習得し、将来のカーボンニュートラルに向けた当社グループの総合エネルギーサービス事業活動に活用する。
- ✓ 地域と連携して長期にわたり森林を適切に管理することを通じて、自然環境保全、地域資源の活用による地域活性化に貢献する。



カーボンニュートラルに向けた  
総合エネルギーサービス事業  
活動に活用

自然環境保全への貢献と  
地域資源の活用

かなやま湖に隣接する**142.82ha**の森林を取得



※航空写真の一部を修正しているため現況と異なる部分があります

健全に育成された森林から得られるCO<sub>2</sub>吸収量を  
**J-クレジット**として価値を明確にし、当社のカーボン  
ニュートラルに向けた取り組みに活用する。

## (参考) J-クレジットについて

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

### J-クレジット創出者 (企業、農業者、森林所有者、 地方自治体等)

- 省エネ設備の導入
- 再生可能エネルギーの導入
- 適切な森林管理

### 創出したJ-クレジット

- 温暖化対策法、省エネ法の報告
- カーボンオフセット
- 低炭素社会実行計画の目標達成等に活用可能

J-クレジットの認証

国（経済産業省・環境省・農林水産省）

# (参考) 南富良野町との連携協定

2021年6月11日、連携協定を締結



▲協定式の様子：左より、南富良野町 池部彰 町長、北ガス 代表取締役社長 大槻博

## ✓ 地域の再生可能エネルギーを活用したエネルギー地産地消の促進

- ・ 町内ダムで発電した電力の地域内活用
- ・ 木材チップの地域内での活用拡大

## ✓ 森林及び関連する産業の維持発展

- ・ 町内森林の長期的な保有による森林の維持発展

## ✓ 道の駅を中心とした地域の公共施設等の災害強靱性向上

- ・ 停電対応型GHPや太陽光発電の導入による道の駅のレジリエンス強化
- ・ その他の防災拠点（町内公共施設）のレジリエンス強化



**活力あるまちづくり、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりに貢献**